

田園都市線あざみ野駅への急行停車、実施に向けて検討

横浜市からの要望に対して回答

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：清水 仁）では、2000年8月30日付で横浜市から出されていた田園都市線あざみ野駅への急行停車の要望書に対して、2002年春に予定している藤が丘駅の急行待避施設供用開始時に、あざみ野駅に急行を停車させる方向で検討するとの内容を、9月29日付書面で回答しました。

今回、あざみ野駅に急行を停車させる方向で検討することにした背景には、次の2つの要因があります。

- ①1993年の横浜市営地下鉄3号線の開業ならびに、港北ニュータウンへの人口の定着が進み、あざみ野駅の乗降人員が急増してきており、他の急行停車駅に匹敵するまでになっている。

※別表を参照

- ②現在、藤が丘駅改良工事において急行待避施設の新設工事を進めており、この施設の供用開始時（2002年春予定）にはスピードアップを図ることができる。これにより、あざみ野駅に急行を停車させることによる増加時分を吸収することができ、あざみ野駅以遠のお客様の都心に向けての利便性を損なうことがなくなる。

田園都市線は、当社を中核企業とする東急グループが中心となって40余年に亘って開発を進めている多摩田園都市の動脈路線として、また、港北ニュータウンなどの多摩田園都市周辺地域の方がたの都心へのアクセス路線として、首都圏における鉄道ネットワークの中において重要な路線であると認識しています。そのため、これまでも利便性向上のための施策を実施してきています。例えば、列車の長編成化や信号保安装置のATC化による運転間隔の短縮といった輸送力増強策、江田駅付近の線形改良などの曲線部分の改良によるスピードアップ化策などを挙げるができます。

さらに現在では、藤が丘駅の急行待避施設の新設工事に加えて、田園都市線の抜本的な混雑緩和策として「大井町線改良工事および田園都市線複々線化工事」（2004年度完成予定）を、さらに駅のバリアフリー化を図るために田園都市線各駅において、エレベーター・エスカレーターの設置工事を鋭意進めています。これらの工事が完成することで、田園都市線は、より使いやすく、より便利な路線になるものと考えています。

以上